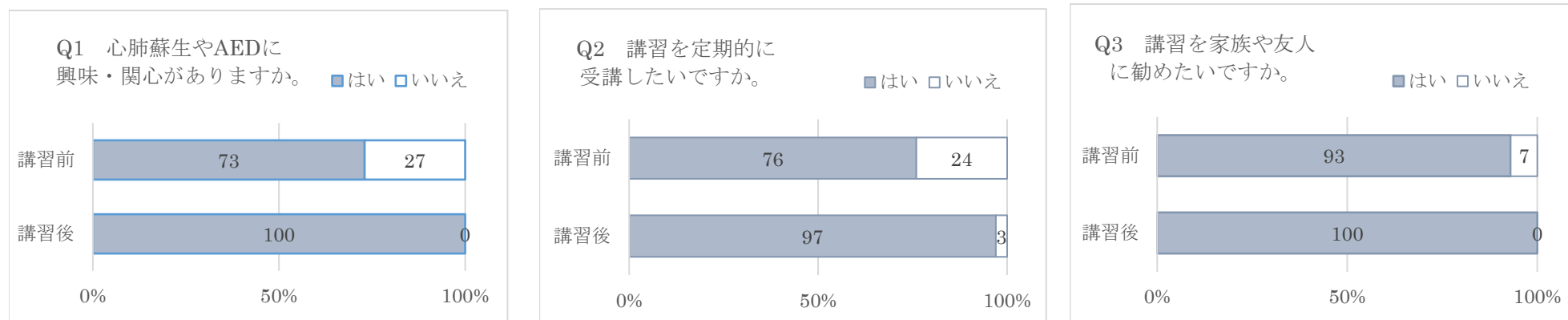


令和3年度 第1回 PUSH 講習会アンケート結果

講習会に参加した生徒の受講前後の意識および知識の変化を以下にまとめました。定期試験後の疲労が溜まった時期ではありましたが、夏休み期間は部活動や課外活動が活発な時期になります。自分を守り、大切な人の命を救うために救命講習を行いました。

【意識の変化】



1年生各クラスの福祉委員22名、希望者8名の計30名が参加しました。通常は50~60名の生徒で講習を行いますが、コロナ禍の為、手指消毒・検温・体調確認等、感染防止対策を徹底した上で、実施しました。例年、受講前アンケートQ1からQ3に「はい」と答える生徒はいずれも60%程度です。今回の参加者はとても意識が高く、講習後には3つの質問の回答はほぼ100%になりました。講習の中では、大きな声で周囲の人に応援を要請したり、胸骨圧迫の仕方も上手にできていました。また、実際のAEDの音声を聞いてもらい、使用の手順を確認することができました。救命の現場では勇気をもって倒れている人に声をかける、119番とAEDを要請する、胸骨圧迫する、AEDを持ってくる等、自分ができることを何か一つすることの大切さを感じてくれました。

【知識の変化】 講習を受けることで正しい知識が定着したか、講習の効果を確認しました。講習前後で以下の質問に回答してもらいました。

《質問》

- ① 心臓突然死はもともと心臓に疾患がある人にだけ起こる。
- ② 倒れてから1分経過するごとに救命率は約1%低下する。
- ③ 呼吸をしているかどうかわからない場合は胸骨圧迫をしない。
- ④ AEDは医療関係者以外は講習を受けていないと使用してはいけない。
- ⑤ AEDは心電図を解析した後、全ての人に電気ショックをしてくれる。
- ⑥ AEDによる電気ショックの後、意識が回復したら誤作動を防ぐためにパッドを外す。

《回答と正答率》

①	いいえ	正答率	受講前 100%	受講後 100%
②	いいえ	正答率	受講前 27%	受講後 90%
③	いいえ	正答率	受講前 50%	受講後 97%
④	いいえ	正答率	受講前 87%	受講後 100%
⑤	いいえ	正答率	受講前 77%	受講後 87%
⑥	いいえ	正答率	受講前 20%	受講後 63%

【生徒の感想】

- ・1年間に約8万人の人たちが心臓突然死で亡くなっていると知り、驚いた。いつでも自分が救命できるように技術も気持ちも準備したい。
 - ・救急車が来るまでの9分間、胸骨圧迫をし続けるのは大変だと思った。周りの人と協力するためにも、友人や家族に救命講習を受けて欲しい。誰にでも人の命が救えることが分かった。一步踏み出す勇気が一番、大切だと思う。
- 【他にも素晴らしい感想をたくさん記入してくれました。】

